

令和6年度 小中一貫教育校 高円寺学園 学園評価

杉並区立小中一貫教育校高円寺学園長 田中 稔

令和6年度 重点とする 経営方針	方針の実現に向けた重点的な取組内容	判断する状況 十分達成 概ね達成 やや不十分 不十分	達成状況	今後の改善策、充実させるための方向性等
1 「One and Only」の学園を目指します。	(1) 小・中学部の児童・生徒・教員間の交流・協働（小中一貫教育）をより進めます。	十分達成	体育祭・文化祭の大きな行事を共につくり上げていく取組の他、地域活動や交流学年企画など日常における児童・生徒のかかわりや、授業研究や校内研修を通した教職員の交流・協働を進めた。	開園5周年を迎えて、小中一貫教育校で学ぶ児童・生徒が増えている。これまでの実践から課題の整理に取り組み、小中授業連携の一層の充実を重点において、豊かにかかわり合う活動を活性化する。
	(2) 高円寺のまちの文化を担おうとする心を育てます。（阿波おどりを学ぶ、踊る行事・地域貢献活動・日本の伝統文化教育等）	十分達成	生活科や総合的な学習の時間、特別活動を中心に、発達段階に応じて計画的な活動を進めた。まちの文化への関心を高め、社会参画の意識や実践力を高めてきた。	「学び舎高円寺」の足跡から学ぶ周年行事、地域文化・阿波おどりに学ぶ機会や地域貢献活動の一層の充実を図り、高円寺のまちと人を愛し、文化を担い、地域に貢献しようとする心を育てる。
	(3) 関係諸機関、近隣施設等と連携し「高円寺流STEAM教育」の研究・実践を行います。	概ね達成	住環境学習に加えて、イマジナスとの連携授業を実施するとともに、大学から研究者を招いて校内で各教科の特性に応じた「高円寺流STEAM教育」に関する研究に取り組んだ。	これまでの研究成果を生かし、総合的な学習の時間のカリキュラム改訂に向けた研究を推進する。イマジナスや大学など外部機関連携を一層強化し、「探究・STEAM教育」の研究と実践を行う。
	(4) エリア内就学前教育施設等との連携（幼保小中連携）を深めます。	概ね達成	近隣連携園との交流に向けて事前アンケートを取り、園児や保育者のニーズに合った活動を計画・実施する等、連携する園数や交流回数の増加に加え、交流活動の質の向上が見られた。	小学部との多様な交流活動、中学部の職場体験学習等を継続すると共に、それぞれの学びの特性についての理解を深め、実践に結びつける教員・保育者の研修会の充実を図る。
	(5) 教職員の「インクルーシブ教育」についての専門性を高め、児童・生徒の困り感に寄り添う教育を進めます。	概ね達成	校内委員会の定期実施を軸に、SCや特別支援教室専門員、外部機関などの専門職の知見を交えた具体的な手立ての検討を教職員で共有し、小中一貫校の特長を生かした全体対応を進めた。	特別支援学級と通常学級との交流の深化を図り、その理解の輪を家庭・地域へと広げる。小中に通じた児童・生徒の実情の共有を深め、優しく寄り添うインクルーシブ教育を充実する。
6 学びに向かう力を高める学園を実現します。	(1) 毎日の授業で、児童・生徒間の対話を生み出し、豊かにかかわり合う（認め合う・助け合う・高め合う）活動を積極的に取り入れます。	概ね達成	小中に渡り、主張や異見の交流から考えを深めて課題解決をめざす「かかわりつながり」を育成テーマにおいて授業構造の校内研究と実践を重ね、互いを高め合う意欲向上につなげた。	主体的な課題設定・追究・解決を大切にする学習の機会充実に向けた研究を進め、デジタル学習基盤を活用してきた実績をさらに工夫改善して、獲得する学びの質を高めた、探究的な学習を日常的に実施する。
	(2) タブレットPCを活用した主体的・協働的な学習や調べ学習を進めます。	概ね達成	タブレットPCを活用した意見共有や、個々の興味・関心に応じた調べ学習の機会を大幅に増やし、個別最適な主体的な学びの充実による深い学びを実現させた。	ねらいを明確にした、より効率的なタブレットPCの活用に加え、図書・ラーニングセンターの活用向上、家庭における活用に向けた連携、情報モラルの意識向上を図り、学びの充実を実現する。
	(3) 確かな学力の確実な定着と向上に向けて、学習評価を充実します。	概ね達成	中学部の評価を前提とした小学部の評価改善を図った。また、日常の学びの状況や評価方法を家庭へ提供し、面談・相談において評価活用を具体的な取組につなげるなどの充実化を推進した。	学力分析を小中で共有し、系統と関連性を明確化した学習評価の精度化と、評価と指導の一体化を向上させる。また、家庭学習の改善に重点をおき、家庭の評価結果共有と活用を図る。
	(4) 住環境学習、キャリア教育、インクルーシブ教育に重点を置く、系統性のある総合的な学習の時間を推進します。	概ね達成	いずれの取組においても、小・中学部の生活科・総合的な学習の時間の9年間の学びの系統性に重点をおき、それぞれの発達段階で得た学びが次の学習に生かされるように計画と実施を進めた。	児童・生徒の課題解決能力を「より高めていくこと」を目指し、各教科で身に付けた資質・能力を、生活科・総合的な学習の時間で活用する校内研究とカリキュラム改訂を推進する。
	(5) 全教師が児童・生徒の自己肯定感と他者信頼感を高める指導・支援及び、学年・学級経営、行事運営を行います。	概ね達成	行事・委員会・係活動・班活動や日常において児童・生徒が相互にかかわり、活躍できる取組を充実させ、交流による学びの楽しさと「自分にはよいところがある」と感じられる機会向上を図った。	児童・生徒が豊かにかかわり合い、自他を認め合えるような交流活動の活性化を図る。全教職員が自己肯定感と他者信頼感を高める指導・支援及び、学年・学級経営・行事運営の向上に取り組む。
11 守られる学園を実現します。	(1) 「人権意識=やさしい心・思いやりの心・多様性を尊重できる心」を育むために、人と人の関わりを大切にした教育を推進します。	十分達成	人権意識を育む学園独自の「人権週間」を実施し、発達段階に応じた人権・人格を尊重し合う意識を高める重点的な取組を行った。日常における事案に応じ、都度学びの機会として取り組んだ。	学園内の人間関係において、互いの人格を尊重し合う機会を大切にする指導に一層の重点をおき、教職員が児童・生徒を呼ぶ際や、児童・生徒が相互に相手を呼ぶ際の「さん付け」を慣行する。
	(2) 「高円寺学園 いじめ防止基本方針」を改訂し、いじめや暴力のない学園・学部・学年・学級経営を進めます。	概ね達成	児童・生徒の意見交流を行い、主体的なかかわりを考える機会をもった上で、その意見を取り入れた改訂を行った。新しい方針に基づいた教職員・児童・生徒に共通した思いによる経営を進めた。	改訂した方針に基づき、未然防止型のいじめ防止の取組を進める。発生したいじめ事案については、被害者及び家族に寄り添い、「継続しない」対応、「再発しない」対応を徹底する。
	(3) 児童・生徒のデジタルシチズンシップを育て、SNS等にかかわる人権侵害行為の当事者（加害・被害）となる事案発生を防ぎます。	やや不十分	情報端末を使用する上で責任ある行動や態度の育成を目指し、外部講師を招いた授業や日常の事例に係る情報モラル学習を進めた。しかし、年間を通じてSNSに係るトラブルが発生した。	デジタル技術の正しい活用と社会への関わりについて学ぶ機会を充実させるとともに、人権教育と関連した規範意識や情報モラルの向上に向けた取組を地域や家庭と連携して推進する。
14 組織のレジリエンスと高めます。	(1) 地域運営型学校として、学校運営協議会、学校支援本部、地域教育推進協議会等、地域と協働した経営及び教育活動を進めます。	十分達成	個々の担当や分掌と地域の連携により、特色ある教育活動や行事、ボランティア活動などを実現させている。地域協働により充実した経営と多様な教育活動を深い学びにつなげている。	教職員において、協働の全体像と担当・分掌間の進行状況の共有を図る。ともに教育活動を運営する地域の思いを一層取り込んだ、9年間にわたる系統的な経営及び教育活動を推進する。
	(2) 教育目標の実現を目指し、カリキュラム・マネジメントを充実します。	概ね達成	学級目標や学期ごとの各自の目標、行事のねらいなど、あらゆる教育活動を教育目標に立ち返って実施し、その関連性を見直して、実現に向けた取組を一貫して進めた。	教育目標「互いを助け高め合う」を教育の重点に、自己肯定感と他者信頼感を高める。教育目標に加えて重点目標や方針を取り上げ、具体的な計画によるOne and Onlyの学園実現を深化する。
	(3) 校内の専門職や外部人材等を活用し、組織の多様性を高め、レジリエンス（様々な困難から立ち直る力）の高い学校組織を実現します。	概ね達成	校内専門職や外部機関との連携を充実させ、チーム学校の機能を生かして多様な課題に向き合った。主幹教諭を軸とした分掌等を越えた運営を実施し、共有意識を高めた組織力向上を推進した。	主幹教諭を中心とした小中学部の協働を進め、学校全体の組織力向上に取り組む。産業医の指導助言の充実や、授業改善におけるOJTの仕組整理により、教職員のウェルビーイングを実現する。